

くれよんクラブ（児童発達支援）評価表（事業所用）

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|----------|--------|--|------|---------|--|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 100% | | プログラムや人数に合わせ行っています。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 80% | 20% | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 60% | 40% | | 設備など改善できるところは進めていく。個々のニーズには応じられるように工夫しながら支援してまいります。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 100% | | | |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 80% | 20% | | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | | 意見箱の設置を行っています | 利用保護者にアンケートを実施し、ご意見をプログラムなどの変更や改善に生かしています。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 100% | | | 今後検討していきます。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | | 引き続き、積極的に参加をしています | 伝達研修を行いながら職員全体の質の向上に努めていきます。また、個々の得意分野も生かしながら職員間での学習の機会を取り入れて参ります。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 100% | | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 100% | | | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 100% | | 「保護者支援」という表現を用いて「家族支援」「地域支援」をとらえ支援内容を設定しています | 今後、支援内容をより具体的に表現し実施していくよう努めていきます |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 100% | | | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 100% | | | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | | 年間のプログラムを作成し活用しています。 | 様々な発想から展開できるように情報収集を行ってまいります |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 100% | | | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | | 支援開始前にミーティングを行い確認している。1日の動きをノートに残し確認できるようにしています。 | |

| | | | | | | |
|--------------------|----|--|------|------|--------------------------------------|---|
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | | 毎日実施しています。より効率のかつ有効的な方法をさらに検討していきます。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | | 関係機関との情報交換等に活用しています。 | より具体的な表現や記録の取り方などを今後も検討していきます |
| | 20 | 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 100% | | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者参画しているか | 100% | | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 100% | | 定期的に会議を実施。また、日常的に情報交換をしています。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 100% | | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解 | 100% | | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 100% | | 研修に積極的に参加しています。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | 100% | | 感染症対策等検討した対応を検討していきます。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 100% | | | 委員会には積極的に参加を引き続きしていきます。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | | 親子通園を実施しており、日常のお話合いができるよう心がけています。 | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 100% | | 4、5歳児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングを実施しています。 | 今年度は日曜日にも実施いたしました。今後も日常的に生かせるよう取り組んでいきます。 |
| 保護者への説 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | | 利用契約時に実施しています。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 100% | | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | | 職員全体が心掛けて実施しています。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 40% | 60% | 今年度も感染症の状況を鑑みて中止となった行事が多くなってしまった。 | 様々な視点で実施していけるように検討していきたい。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|------|-----|---|-----------------------------------|
| 明責任等 | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | | 日頃から関係機関と連携を図り対応しています。 | |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 100% | | 毎月「くれよんだより」を発行しています。また、保育園などの関係機関へも配り、情報を共有できるようにしていま | |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 100% | | 必要に応じて個別的に確認をしています。 | |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | | | |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている | | ○ | 地域との行事も感染症の状況で中となってしまった。 | 開催の仕方など環境が変化してもできることも検討していきたい。 |
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 100% | | 感染症対応マニュアルを作成し周知、実施いたしました。 | その他のマニュアル作成を行うとともに保護者への周知も行っています。 |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | | 毎月実施しています。 | 規模を縮小しながら感染症対策をし、実施していきます。 |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のことものを状況を確認している | 100% | | 面接時やアセスメント票にも記入し、確認しています。 | |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 60% | 40% | 保護者を通じて確認しています。 | 職員研修を強化して専門的な知識を高めていきます。 |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 40% | 60% | 事例に基づき、会議等で対応策等検討しています。 | 日々実践できる工夫をしていく。 |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 100% | | 研修への参加や実施をしています。 | |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 100% | | | 今後、虐待防止委員会と共に決定し実施していきます。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

くれよんクラブ評価表（児童発達支援・利用保護者用）

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いい え | わかり ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|---|--|------|---------------|---------|-----------|---|--|
| 環境・ 体制整備 | ① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 89% | 5% | | 5% | ・のびのびとあそんでいるとおもいます。・個別スペースもありがたいと思う。 | ・限られた空間ではありますが、工夫をして対応していきます。 |
| | ② 職員の配置数や専門性は適切であるか | 95% | | | 5% | ・少人数で変わらず適切だと思う。・もう少し職員がいればいいと思う | ・支援の円滑さによっては、より多くの職員配置が必要になる場合もございます。できるだけ適切な職員配置を心掛けて参ります。 |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 74% | 21% | | 5% | ・同じ部屋での活動、体制もわかりやすいと思います。 | ・視覚的にも分かりやすく、誰もが過ごしやすい環境整備を今後も続けて参ります。 |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 90% | 5% | 5% | | ・子ども本人に過ごしやすい場所です。・南側の入り口にも手消毒機があるといいと思います。 | ・今後も、感染予防対策も含め、清潔で心地良い空間づくりを行って参ります。 |
| 適切な支援の 提供 | ⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 95% | | | 5% | ・よく見て計画されています。 | ・今後も努めて参ります。 |
| | ⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 95% | | | 5% | ・色々な支援、本人に合った支援を考えて頂き設定してくれています。 | ・様々な視点、専門性を活かした支援を引き続き、ご家族とご相談しながら実施していきます。 |
| | ⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 95% | | | 5% | | ・今後も努めて参ります。 |
| | ⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 95% | 5% | | | ・一人ひとりに合ったプログラムだとおもいます。・たまに工作が続くことがある。 | ・今後も目的や目標を明確にしたプログラムを検討し提供できるような種類の専門性を高め生かしていく体制づくりに努めていきます。 |
| | ⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会があるか | 65% | 15% | 5% | 15% | ・コロナで何ともおえない・保護者の先生との情報共有がなされている。 | ・感染症予防対策や新たな取り組みを今後検討しながら実施していきます。 |
| 保護者への 説明等 | ⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 100% | | | | ・丁寧な説明があった。わかりやすかった。 | ・引き続き努めて参ります。 |
| | ⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 100% | | | | ・読み合わせをして納得したうえで同意をしています。 | ・引き続き努めて参ります。 |
| | ⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 100% | | | | ・ペアレントトレーニングに参加させて頂きました。先生の講義もわかりやすく、子どもを褒めることの大切さを学びました。 | ・年中長月の保護者対象で実施しています。引き続きペアレントトレーニングを実施していきます。 |
| | ⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 89% | 11% | | | ・連絡を取り合える環境、対応をいただいている。・いつも良いところを褒めてくれてとてもうれしいです。 | ・引き続き努めていきます。感染症対策を踏まえながら工夫をして行っていきます。 |
| 非常時等の 対応 | ⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 95% | 5% | | | ・忙しい中、面談や相談をさせて頂いていただいている。・相談にのってくれるのでとても助かっています。 | ・引き続き、職員一同、努めて参ります。 |
| | ⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 35% | 35% | | 30% | ・コロナの状況もあり難しいと思う。・コロナで仕方ないと思う。 | ・昨年へ続き、コロナの状況で多くの行事を中止となってしまいました。今後は新たな形での活動や連携を検討していきたいと考えています。 |
| | ⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 100% | | | | ・とても話しやすい体制を取ってもらっています。 | ・今後も迅速かつ日常的取り組んでいきます。 |
| | ⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100% | | | | | ・引き続き努めていきます。 |
| | ⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 70% | 18% | | 12% | | ・保護者の皆様への周知の方法を更に検討して参ります |
| | ⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 88% | 12% | | | | ・皆さんのご意見を参考にしながら今後検討していきます。 |
| | ⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 94% | | | 6% | ・コロナの情勢の中迅速に対応していると思う。 | ・感染症マニュアルの作成、周知、実施を行った。防犯マニュアル等今後順次作成していきます。 |
| ㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 82% | | | 18% | | 今後も、様々な状況を想定した訓練を定期的実施していきます。 | |
| 満足度 | ㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか | 100% | | | | ・毎日朝早く準備をして楽しみに通っています。・とても楽しく通っています。・毎回何をやるのかとても楽しみに通わせて頂いています。・通園は心の安定につながっています。 | ・今後もおこさんやご家族が安心して楽しく通園できるよう努めてまいります。 |
| | ㉓ 事業所の支援に満足しているか | 100% | | | | ・毎回丁寧に情報をお伝えくださり、大変満足しています。大変満足です。通わせてよかったと思っています。・先生方にはとても感謝しています。 | ・今後もご意見をいただきながら、より良いサービスの提供に努めてまいります。 |

◇アンケート実施期間 2022年2月

◇対象利用世帯数…8世帯

◇回収数…5世帯

◇回収率…62.5%

くれよんクラブ評価表（放課後等デイサービス利用保護者用）

| | | チェック項目 | はい | どちらとも えない | いいえ | ご意見 | 今後の対応 |
|------------------|---|--|------|--------------|-----|---------------|---|
| 環境・ 体制設備 | ① | 子どもの活動等スペースが十分に確保されているか | 100% | | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 100% | | | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 40% | 60% | | 分からない | 来年度は耐震工事等、建物設備の修繕を計画しています。誰もが使いやすい、過ごしやすい環境整備に努めて参ります。 |
| 適切な 支援の 提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 100% | | | | |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 100% | | | | |
| 保護者への 説明等 | ⑥ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 100% | | | | |
| | ⑦ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 100% | | | | 感染対策や状況に応じて方法を検討しつつ今後も保護者面談を定期的の実施して参ります。 |
| | ⑧ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 100% | | | | |
| | ⑨ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 67% | 33% | | 苦情があるのかわからない。 | 苦情があった場合の責任者や対応窓口を定めております。苦情がない場合も職員が広い視点で問題解決をしていけるように努めて参ります。 |
| | ⑩ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100% | | | | |
| | ⑪ | 個人情報に十分注意しているか | 80% | 20% | | | 職員研修等を実施し、改善に取り組んでまいります。 |
| 非常時 等の 対応 | ⑫ | 緊急時対策マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 80% | 20% | | | 定期的な避難訓練等も実施していますが、様々な事態に備えたマニュアルを作成し、周知していくことに努めていきます。 |
| | ⑬ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 100% | | | | 今後も、様々な状況を想定した訓練を定期的の実施していきます。 |
| 満足 度 | ⑭ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 100% | | | | |
| | ⑮ | 事業所の支援に満足しているか | 100% | | | | 引き続き、努力していきます。 |

◇アンケート実施期間 2022年2月
 ◇職員数6名中5名回答

くれよんクラブ（放課後等デイサービス事業者用）評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いい いい | いいえ | 今後の改善点等 |
|--------------|---|--|------|-------------------|-----|--|
| 環境・体制設備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | | | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 100% | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 40% | 20% | 40% | ・来年度中に耐震工事を含めた施設の改修行われる予定。誰もが安心して過ごせる環境づくりを実施していきます。 |
| 業務改善 | ④ | 保護者向けにアンケート等を実施し、保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか | 100% | | | ・今後も意見を参考にして職員で共有し検討していきます。 |
| | ⑤ | 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100% | | | ・年間と通して研修を実施しました。今後も続けていきます。 |
| 適切な支援の提供 | ⑥ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | | | |
| | ⑦ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 100% | | | ・自主的に参加できるプログラムを検討していく、職員がチームとなりより工夫していきます。 |
| | ⑧ | 平日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 100% | | | ・職員会議等で、話し合う時間を多く設けていきます。 ・普段から職員間のコミュニケーションを心がけます。 |
| | ⑨ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか | 100% | | | ・担当が責任を持ち実施している。引き続き行っています。 |
| | ⑩ | 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか | 100% | | | ・引き続き実施していく、より効果的な方法も検討していきます。 |
| | ⑪ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 80% | 20% | | ・日々の検討ができるよう、検討していきます。 |
| 関係機関・保護者との連携 | ⑫ | 学校との情報共有や連絡調整を適切に行っているか | 80% | 20% | | |
| | ⑬ | 日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | | | ・限られた時間を有効に使っていくとともに、必要に応じて、保護者と話し合う機会を設けていきます。 |
| | ⑭ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | | | |
| 保護者への説明責任 | ⑮ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | | | ・職員の専門性を高めしていくとともに専門家への協力を得ながら実施していく |
| | ⑯ | 個人情報に十分注意しているか | 100% | | | ・引き続き、十分に注意していきます。 |
| | ⑰ | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | | | ・引き続き、十分に配慮していきます。 |
| 非常時等の対応 | ⑱ | 緊急時対策マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に通知しているか | 100% | | | ・防犯マニュアル等順次法人としても作成していきます。 |
| | ⑲ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | | | ・引き続き、避難訓練のなかに、水消火訓練や体験を行い、様々な状況を想定した訓練を実施していきます。 |
| | ⑳ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | | | ・人権擁護のためのセルフチェックを実施し研修を実施。引き続き、年1回は虐待研修を実施していく、適切な対応ができるようにしていきます。 |